

お住まいの地区	実施日時
北野・有明	10月5日(火) 午後1時15分～2時45分
平岡・平岡公園東	10月13日(水) 午後1時15分～2時45分
清田・里塚・里塚緑ヶ丘	10月22日(金) 午後1時15分～2時45分
真栄・美しが丘	10月25日(月) 午前9時15分～10時45分
お住まいの地区の実施日に服用できない方	10月28日(木) 午前9時15分～10時45分

☎(889) 2400 (内線513・514)  
詳細 地域保健課保健予防係

◆日時 左表の通り。お子さんの体調などにより、お住まいの地区以外の実施日に来ていただいてもかまいません。  
◆会場 区役所2階保健センター。  


ポリオ(小児マヒ) ワクチン服用のお知らせ  
ポリオは、ウイルスによる感染症で、ワクチンを服用することで予防できます。詳しくは、本誌30ページをお読みになり、ほかの予防接種の間隔などに注意して服用してください。

ポリオ(小児マヒ)  
ワクチン服用のお知らせ

**毒キノコに注意しましょう!**

札幌市は豊かな自然に恵まれており、近年、自然志向の高まりなどを背景に、春の山菜採りと並んで、秋にはキノコ狩りを気軽に楽しむ市民の方が増えています。しかし、キノコは食用と毒との区別が難しいものが多く、不幸にも食中毒になる事例が後を絶ちません。札幌市では、毎年9月10日から10月10日までを「キノコによる食中毒予防月間」と定め、路上販売の監視、きのこ展の開催、パンフレットを配布するなどして皆さんに注意を呼び掛けている。



**注意! これらの説は全て誤りです!**

- ✗ 縦に裂けるキノコは食べられる
- ✗ 虫に食われていれば大丈夫
- ✗ ナスと一緒に料理すると食べられる
- ✗ 色の鮮やかなキノコは毒。地味なキノコは食べられる
- ✗ 木の幹に生えるキノコには毒がない



**キノコによる食中毒を防ぐポイント**

- 🍄 食用と分かっているものだけを採る!
- 🍄 知らないキノコは試食しない、人にもあげない!
- 🍄 食用でも、古く、大きくなりすぎたものは食べない!
- 🍄 生で食べない!
- 🍄 食用か毒かの見分けは、**専門家**に鑑定を依頼する!

区役所(平岡1条1丁目)1階の地域保健課生活衛生担当(☎889-2400内線501)ではキノコの相談をお受けしています。ぜひご利用ください。



中毒例が多いキノコ  
**クサウラベニタケ(臭裏紅茸)**

夏から秋にかけて、広葉樹林の地上に発生し、やや不快臭があります。ウラベニホテイシメジ(食用)と極めてよく似ており、区別は非常に困難です。中毒を起こすと、腹痛や嘔吐、下痢のほか神経系の症状を引き起こし、ひどい場合は死亡することもあります。



●特徴●  
傘は小型から大型まで(約3~8センチ)のものがあり、灰色から黄土色で、湿ると粘性があり、乾くと絹状の光沢を現す。ひだは始めは白色で成熟すると肉色になる。柄は上下同幅か下方がやや太まり、ほぼ白色。中空で、もろい。

広告欄